

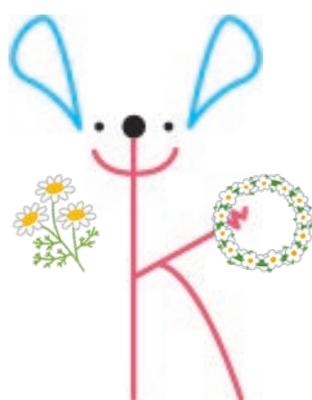


# 高校生を対象とした公開授業科目(第1学期) 履修案内(シラバス) ~2026年度版~



「シラバス」とは・・・

シラバスとは、各授業科目の詳細な授業計画のことです。  
一般に、授業名、担当教員名、講義目的、  
各回ごとの授業内容などが記されており、  
学生が各授業科目の準備学習等を進めるための基本となるものです。



香川大学マスコットキャラクター

## 【お問い合わせ】

香川県教育委員会 高校教育課 教育指導グループ  
〒 760-8582 高松市天神前6-1  
TEL 087-832-3750 FAX 087-806-0232

香川大学 教育・学生支援部 教育企画課  
〒 760-8521 高松市幸町1-1  
TEL 087-832-1147 FAX 087-832-1155

※授業内容に関するお問い合わせは香川大学まで

## 【公開授業科目(第1学期)】

授業科目名	教養/専門(注1)	担当教員	期間(注2)	曜日	時間	頁
学習環境の現在と未来	教養教育	笹屋 孝允 (教育学部)	4月13日～6月8日 (計8回)	月	16:20～17:50	1
植物科学入門	教養教育	市村 和也 (農学部)	4月13日～6月8日 (計8回)	月	16:20～17:50	2
様々な場所に潜む数学	教養教育	石井 知彦 他 (創造工学部)	6月11日～7月30日 (計8回)	木	16:20～17:50	3
生物科学入門(植物と微生物)	教養教育	市村 和也、松沢 智彦 (農学部)	4月13日～6月8日 (1日2回、計15回)	月	18:00～19:30 19:40～21:10	4-5
哲学	教養教育	三宅 岳史 (教育学部)	6月16日～8月4日 (1日2回、計15回)	火	18:00～19:30 19:40～21:10	6
刑事法入門	専門教育	平野 美紀 (法学部)	4月13日～7月27日 (計15回)	月	16:20～17:50	7
民法入門	専門教育	深沢 瞳 (法学部)	4月14日～7月28日 (計15回)	火	16:20～17:50	8
政治学入門	専門教育	金子 太郎 (法学部)	4月17日～7月24日 (計15回)	金	16:20～17:50	9
法学入門(夜間主コース)	専門教育	細谷 越史 (法学部)	4月17日～6月5日 (1日2回、計15回)	金	18:00～19:30 19:40～21:10	10
社会と文化(夜間主コース)	専門教育	緒方 宏海 (経済学部)	4月14日～6月9日 (1日2回、計15回)	火	18:00～19:30 19:40～21:10	11
金融政策(夜間主コース)	専門教育	藤原 敦志 (経済学部)	6月11日～7月30日 (1日2回、計15回)	木	18:00～19:30 19:40～21:10	12

(注1) 香川大学の教育は、特定の専門分野に限定されない幅広い知識・能力を養う「教養教育(全学共通科目)」と、専門職業人を養成するための「専門教育(学部開設科目)」によって構成されています。  
1年次の間は教養教育を中心に、2年次以降は専門教育を中心に学びます。

(注2) 授業スケジュール編成の都合上、一部の授業においては、通常とは異なる曜日に開講したり、休講になったりすることがあります。  
詳細は、13～14ページの「2026年度行事予定表」をご参照ください。  
(昼間と夜間主コースで授業スケジュールが異なります。お間違えのないようにお願いします。)

(注3) 一部の授業またはすべての授業が遠隔実施となる場合があります。  
その場合はパソコンとインターネットの通信環境が必要となります。

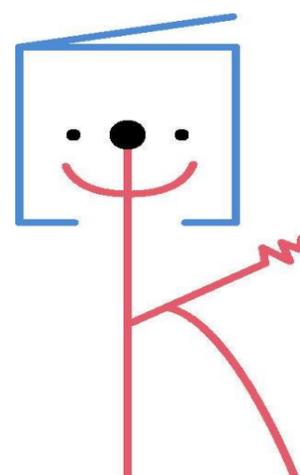
(注4) 初回授業の前にガイダンスを行います。初回が対面授業の場合は、開始20分前に香川大学幸町北キャンパス 大学会館2階(15ページ参照)にお越しください。  
初回が遠隔授業の場合は、別途お知らせいたします。

大学の授業には、いろんな「気づき」があるよ。  
その「気づき」を高校に持ち帰ってみよう。  
高校の授業の見方も変わってくるはず！  
大学生との交流も良い刺激になるよ！

### 【第2学期の公開授業(予定)】

- ・ 子どもの視座から教育を考える(教養/教育学部)
- ・ 健康と疾病(教養/医学部)

このほか、専門教育も充実しています！  
また、夏の数日だけ行う「体験授業」もあります。



<b>授業科目名</b> 学習環境の現在と未来 Learning environment	<b>時間割</b> 4月13日(月)～6月8日(月) 毎週月曜日 16時20分～17時50分 (計8回)
<b>担当教員名</b> 笹屋 孝允	初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(15ページ参照)にお越しください。
<b>学習時間</b> 演習90分間×8回+自学自習(準備事後合計30時間)	
<b>授業の概要</b> 現在・未来の学習環境の1つとなる、授業動画コンテンツを作成します。小・中・高等学校の教師になりきって、「AI」を活用した授業を行う数分間の動画を、グループで協働しながら作成、編集します。 この科目では、課題探求のプロセスに実践を通じて関与することができます。 <b>【キーワード】</b> 学習環境, ICT教育, AI	
<b>授業の目的</b> この授業は、受講生が主体的に活動する授業です。 現在、教育のICT化が急速な勢いで進められています。一方、ICTやAIのメリットを生かした、個別具体化の教育の必要性も叫ばれています。この授業では、授業動画の作成、編集を通して、ICTスキルだけでなく、教師としての授業スキルも習得することを目的にしています。	
<b>到達目標</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の教師としての授業スキルを習得する</li> <li>・動画作成、編集を通して、ICTスキルを習得する</li> <li>・動画作成、編集を通して、グループで協働する態度を身につける</li> <li>・今後の学校教育に関する展望を持つことができる</li> </ul>	
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>	
<b>【授業計画】</b> (1)オリエンテーション (2)授業の組み方と動画編集方法の講義 (3)グループワーク① (4)グループワーク② (5)グループワーク③ (6)グループワーク④ (7)グループワーク⑤ (8)最終発表会 <b>【授業及び学習の方法】</b> ・グループワークが主体の授業です。 ・原則対面で行いますが、教育効果を高めるためにオンライン授業を採用する場合があります。 <b>【準備学習及び事後学習のためのアドバイス】</b> (1)授業動画作成及び、その準備(4時間) (2)授業動画作成及び、その準備(4時間) (3)授業動画作成(4時間) (4)授業動画作成(4時間) (5)授業動画作成(4時間) (6)授業動画作成(4時間) (7)授業動画作成(4時間) (8)最終レポートの作成(2時間) ・個々で課題が異なることが予想されるため、内容は各グループの活動に合わせてます。	
<b>教科書・参考書等</b> 教科書等は特にありません。必要な資料は授業中に提示します。 ノートパソコン必携です。スマートフォン等も所持していれば活用します。	
<b>履修上の注意・担当教員からのメッセージ</b> グループワークが主体のため、メンバーと協力しながら授業に参加できることが受講条件です。授業時間外にもグループワークを行う必要があることを理解した上で受講してください。 1回目の授業でグループのメンバーを決めるため、1回目の授業を欠席した場合は(いかなる理由であっても)本授業を受講することができません。	



授業科目名 様々な場所に潜む数学 Mathematics behind the scenes in various places	時間割 6月11日(木)～7月30日(木) 毎週木曜日 16時20分～17時50分 (計8回)
担当教員名 石井 知彦. 杉野本 勇氣. 須崎 嘉文. 高野 啓児. 平山 恭介. 松島 充. 宮崎 隼人	初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(15ページ参照)にお越しください。
学習時間 授業90分×8回+自学自習(準備学習15時間+事後学習15時間)	
<b>授業の概要</b> この授業は、様々な場所に潜む数学を学ぶことによって、それらの現象を正しく理解するとともに、一見無機質に見える数学が生活に直接関わっていることを実感することを目的としています。異なる学部の教員がそれぞれ1コマ90分で、主に教員の専門内容に関する数学の内容について説明を行います。	
<b>授業の目的</b> 様々な場所で用いられている数学の実例を専門家より説明を受けることによって、数学を応用できるようになる。	
<b>到達目標</b>	
1. 授業で扱う数学の原理を5つ以上説明することができる。 2. 現実世界に対して数学を用いる方法を具体的に説明することができる。	
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>	
<b>【授業計画】</b> 第1回 ガイダンス、化学における数学(担当:石井知彦) 第2回 江戸時代までの日本固有の数学「和算」(担当:松島充) 第3回 歴史に潜む数学(担当:杉野本勇氣) 第4回 日常生活に潜む数学(担当:平山恭介) 第5回 パスカル三角形からはじまる数学(担当:宮崎隼人) 第6回 充填率における数学(担当:須崎嘉文) 第7回 15-パズルの数学的分析 --- 数学における不可能性の証明について(担当:高野啓児) 第8回 本講義のまとめ(担当:石井知彦) 授業計画に変更がある場合、第1回ガイダンスで説明する。また、それ以降の変更については随時連絡を行う。 <b>【授業及び学習の方法】</b> 授業は講義中心に進めます。また、授業毎にレポートを課し、講義で学んだ内容及び授業外で自ら学んだ内容の整理を促します。 <b>【自学自習のためのアドバイス】</b> 第1回 化学の中には、分子の形や結晶の形を始め、様々な数学が隠れています。ぜひ探してみてください。 第2回 授業で配布する資料の問題を楽しんで解くことを通して、江戸時代の数学文化を体験しましょう。 第3回 歴史に潜む数学を探してみてください。 第4回 日常生活に潜む数学を探してみてください。 第5回 高校で学習したパスカル三角形には奥深い世界が広がっています。資料や課題を通してその世界を体験してみてください。 第6回 充填率について調査して整理する。 第7回 レポート課題とするパズルの完成可能性判定は授業で実践するので集中して取り組まれることを望む。 <b>【授業形態】</b> この科目は原則として対面授業を行います。一部の回では遠隔授業を行う可能性があります。なお、状況によっては全ての回を対面又は遠隔に変更する可能性があります。	
<b>教科書・参考書等</b> 教科書・参考書等は授業中に適宜紹介します。	
<b>履修上の注意・担当教員からのメッセージ</b> 毎回出席をとります。15分以上の遅刻は欠席として扱います。	

<b>授業科目名</b> 生物科学入門 (植物と微生物) Introduction to Biosciences (Plants and Microbes)	<b>時間割</b> 4月13日(月)～6月8日(月) 毎週月曜日 18時00分～19時30分 19時40分～21時10分(1日2回、計15回)
<b>担当教員名</b> 市村 和也, 松沢 智彦	初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(15ページ参照)にお越しください。
<b>学習時間</b> 授業90分×15回 + 自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)	
<b>授業の概要</b> 1-8回【キーワード】DNA、遺伝子、ゲノム、遺伝子組換え植物、ゲノム編集植物 植物は、食料や家畜飼料の供給など農産物生産だけでなく、建材、繊維、燃料の原材料、花卉園芸など、様々な産業・分化と密接に関連している。本講義では、環境と植物の関わりに重点を置きながら、環境に対する植物の反応、環境応答に関わる植物ホルモン、遺伝子組換えやゲノム編集技術を利用した植物機能開発から、植物に関わる社会的な課題についても紹介する。 9-15回【キーワード】微生物、酵素、代謝、発酵 発酵は微生物とヒトが長い年月をかけて培ってきた営みであり、微生物の生存戦略とヒトの都合が合致することで発展してきた。発酵を理解するためには微生物やその代謝および酵素の理解が不可欠である。本授業では、微生物や代謝、酵素、また、これらを利用した発酵について概説する。 この科目では、課題探求のプロセスに実践を通じて関与することができます。	
<b>授業の目的</b> 1-8回 我々人類の様々な活動は、全て植物に依存している。また、食糧安全保障や食品安全性とも結びついており、これらを評価するためリテラシーの涵養が必要である。前述の点を再認識した上で、植物の研究の現状や遺伝子組換え、ゲノム編集、植物の持つ特有の機能、我々の生活環境と植物との関わりについて理解することを目的としている。本科目により、「遺伝子組換え植物およびゲノム編集植物を材料とした食品や生製品の安全性を正しく評価することができる」リテラシー修得を目指す。 9-15回 微生物とその代謝および酵素について学び、身近な発酵食品との関係を科学的に理解することができる。また、食料問題や環境問題などの社会課題の解決に対する微生物の可能性について考察することができるようになる。	
<b>到達目標</b>	
1. 植物と微生物が有する様々な能力や機能について説明できる。 2. 植物科学・微生物学の持つ社会的側面について説明できる。 3. 植物遺伝子組換え及びゲノム編集技術の安全性について説明できる。 4. 植物と微生物に関連した生物技術と一般社会の科学リテラシーの乖離が抱える課題とリスク対策について説明できる。	
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>	
<b>【授業計画】</b> 1) なぜ植物を学ぶのか? (市村) 2) DNA・遺伝子・ゲノム (市村) 3) 植物の遺伝子組換えと遺伝子組換え作物 (市村) 4) 植物のゲノム編集 (市村) 5) 植物バイオテクノロジーの光と影 (市村) 6) 実用化に向けた植物研究 (市村) 7) 植物生理学入門1 (植物ホルモン概説) (市村) 8) 植物生理学入門2 (防御に関連する植物ホルモン) (市村) 9) 微生物とその分類について (松沢) 10) 微生物の酵素について (松沢) 11) 微生物の代謝について (松沢) 12) 微生物と発酵1:酒・発酵調味料と微生物 (松沢) 13) 微生物と発酵2:発酵食品と微生物 (松沢) 14) 微生物と環境問題 (松沢) 15) 微生物による社会課題の解決 (松沢) <b>【授業及び学習の方法】</b> ・本授業では、一般教養レベルの内容をもとに、科学的内容を深めて行く。授業は講義形式で行い、必要に応じて資料を配付して解説を加える。講義ノート、参考書などを参考に自主的に予習・復習を行う。 ・授業は基本的に対面で行う予定である。ただし、新型コロナウイルスの感染状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔に変更する可能性がある。 <b>【自学自習のためのアドバイス】</b> 授業期間全体で、準備と事後を合わせて60時間を目安に自学自習を行うこと。初回授業に行うイントロダクションの説明を参考にすること。	

毎回の講義で理解できなかった概念や用語を調べ、次回までに理解しておくこと。

- 1) なぜ植物を学ぶのか? (4時間)
- 2) DNA・遺伝子・ゲノム (4時間)
- 3) 植物の遺伝子組換えと遺伝子組換え作物 (4時間)
- 4) 植物のゲノム編集 (4時間)
- 5) 植物バイオテクノロジーの光と影 (4時間)
- 6) 実用化に向けた植物研究 (4時間)
- 7) 植物生理学入門1 (植物ホルモン概説) (4時間)
- 8) 植物生理学入門2 (防御に関連する植物ホルモン) (4時間)
- 9) 微生物とその分類について (4時間)
- 10) 微生物の酵素について (4時間)
- 11) 微生物の代謝について (4時間)
- 12) 微生物と発酵1:酒・発酵調味料と微生物 (4時間)
- 13) 微生物と発酵2:発酵食品と微生物 (4時間)
- 14) 微生物と発酵3:醸造の地域特性 (4時間)
- 15) 微生物による社会課題の解決 (4時間)

#### 【授業及び学習の方法】

第1回 復習 植物が元になる物質や農業生産を調べてまとめる。

第2回 高校生物の当該内容を予習したり復習したりする。

第3回 高校生物の当該内容を予習したり復習したりするとともに、授業内容に対応する解説動画を見てまとめる。

第4回 授業内容に該当した参考書やメディア記事をまとめて復習する。

第5回 授業内容に該当した参考書やメディア記事をまとめて復習する。

第6回 授業内容に該当した参考書やメディア記事をまとめて復習する。

第7回 植物生理学の入門書の該当項目を学習する。

第8回 植物生理学の入門書の該当項目を学習する。

第9回 高校生物の当該内容を予習したり復習したりする。

第10回 授業内容に該当した参考書などをまとめて復習する。

第11回 授業内容に該当した参考書などをまとめて復習する。

第12回 授業内容に該当した参考書やメディア記事をまとめて復習する。

第13回 授業内容に該当した参考書やメディア記事をまとめて復習する。

第14回 授業内容に該当した参考書やメディア記事をまとめて復習する。

第15回 授業内容に該当した参考書やメディア記事をまとめて復習する。

#### 教科書・参考書等

1-8回 参考書:植物まるかじり叢書全5冊 植物生理学会監修 化学同人 2007

9-15回 参考書:基礎からしっかり学ぶ生化学 羊土社 2023

#### 履修上の注意・担当教員からのメッセージ

1-8回は市村が担当します。

生物を未履修の学生に配慮した内容としています。

出席の把握、講義の復習や質問については「レスポンスシート」を使用します。初回授業出席時に必ず配布を受け、学籍番号と氏名を記入して下さい。レスポンスシートは毎回授業前に各学生が回収し、必ず記入して授業後所定の封筒に返却して下さい。これにより教員は出席を把握します。

9-15回は松沢が担当します。

各講義において小テストを実施し、これによって出席を把握します。

授業科目名 哲学 Philosophy  担当教員名 三宅 岳史	時間割 6月16日(火)～8月4日(火) 毎週火曜日 18時00分～19時30分 19時40分～21時10分(1日2回、計15回)  初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(15ページ参照)にお越しください。
学習時間 講義90分×15回+自学自習(事前学習30時間相当+事後学習30時間相当)	
<b>授業の概要</b> 哲学とは、「なぜ」「どうして」「～って何？」などの素朴な問いから物事を深く掘り下げていく学問である。この授業でも、身の回りの素朴な問いから始めて、それがどのような哲学者たちの問いと結びつか、という作業を経て、自分の頭で問題を考えていこう。	
<b>授業の目的</b> 哲学ではどのようなことが問題にされてきたか、その問いに哲学者はどのような考えを巡らせてきたか、それに対して自分はどう思うのか、というようなことを考えていくのがこの授業の目的である。	
<b>到達目標</b> ①身の回りから哲学的な問題を立てて深めることができる。 ②哲学者が考えた問題と議論について説明できる。 ③哲学的問題について自分の見解と根拠を述べることができる。	
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>	
<b>【授業計画】</b> 1. プラトンと愛の問題【講義】 2. 愛とは何か？【話し合い】 3. アリストテレスの哲学と芸術論【講義】 4. 美とは何か？アートの目的は何か？【話し合い】 5. ヘレニズムの哲学：ストア派とエピクロス派【講義】 6. 我々は自由なのか？【話し合い】 7. 中世哲学者と神【講義】 8. この世に悪があるのはなぜか？【話し合い】 9. デカルトの合理論とロックの経験論【講義】 10. 知識とは何か？【話し合い】 11. カントの哲学と功利主義【講義】 12. 我々は何をすべきか？【話し合い】 13. 現代思想の源流：ニーチェ、マルクス、フロイト【講義】 14. 意識は奴隷にすぎないのか？【話し合い】 15. 哲学カフェ：自分たちの作った問題をテツガクする【話し合い・ふりかえり】 <b>【授業の方法】</b> 授業は【講義】と【話し合い】の二つの部分から構成されます。【講義】では教員が哲学者の学説をいくつかの問題に関して説明します。【話し合い】では【講義】に関連する問題について、出席者で議論を行います。この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。 <b>【自学自習のためのアドバイス】</b> 参考資料を配布、ないしは紹介する場合は、それを次の時間までに読んできてください。そのほか次の時間で取り扱うテーマについて準備をお願いすることがあります。(事前学習各2時間×15回) また、配布プリントについて授業で扱った問題について回答し、次回の授業で提出するような小さな課題を出すこともあります。(事後授業各2時間×15回)	
<b>教科書・参考書等</b> 教科書はありません。授業中にプリント配布します。 参考書については、授業中に適宜紹介します。	
<b>履修上の注意・担当教員からのメッセージ</b> なし	



授業科目名 民法入門 Introduction to Civil Law	時間割 4月14日(火)～7月28日(火) 毎週火曜日 16時20分～17時50分 (計15回)
担当教員名 深沢 瞳	初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(15ページ参照)にお越しください。
学習時間 講義90分×15回+自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)	
<b>授業の概要</b> <b>【授業の内容】</b> 民法は、不動産の購入、借金の連帯保証、アパートの賃貸、他人に怪我をさせてしまった場合の損害の賠償責任、結婚や相続など、私達の日常生活に密接に関わる身近な法律です。この授業では、民法の全体像を理解することを目的として、民法の体系を意識しながら学習します。 <b>【他の授業科目との関連】</b> この授業は、1年生後期より開始する民法I～IVの橋渡しとなる科目です。	
<b>授業の目的</b> 民法の基本的な知識を学習し、民法の全体像を理解することを目的としています。また、民法I～IVの履修に向けて、基本的な知識を獲得することも本講義の狙いです。	
<b>到達目標</b> ①民法に関する基礎的な知識を習得する。 ②習得した知識を用いて社会的紛争を法的に分析・批判する能力を獲得する。 ③自らの考えを論理的(法的)に組み立て・表現する能力を体得する。	
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>	
本授業は、原則対面により実施します。なお、状況によっては全て又は一部の回の授業形態を遠隔に変更する可能性があります。ただし、授業内容や順序を変更する場合があります。 <b>【授業計画】</b> 第1回 ガイダンス(民法とは何か) 第2回 契約 第3回 いろいろな契約 第4回 契約の履行 第5回 契約の不履行と履行の強制 第6回 不良債権の回収 第7回 売買以外の契約(賃貸借契約) 第8回 所有権 第9回 担保物権 第10回 不法行為 第11回 夫婦 第12回 親子 第13回 高齢者 第14回 相続 第15回 まとめ <b>【授業の進め方】</b> 担当者が作成したレジュメに基づき行います。レジュメはMoodleにて事前に配布しますが、紙媒体での配布は行いません。各自、データのダウンロードや印刷などの上、講義に参加して下さい。特定の教科書は指定しませんが、1冊手元にあると学習に役立ちます。詳しくは初回授業の際に説明します。 <b>【学習の方法】</b> 予習：時間のある方は参考書等の該当箇所を事前に読んできて下さい(30分～1時間程度) 復習：授業で取り扱った内容について読み返す、分からなかった部分は調べるようにして下さい(1時間程度)	
<b>教科書・参考書等</b> 初回授業の際、説明します。	
<b>履修上の注意・担当教員からのメッセージ</b> <b>【履修上の注意】</b> 六法は必ず持参して下さい。 <b>【担当教員からのメッセージ】</b> この授業では、民法との基本知識の習得を通じて、民法の体系や全体像の理解することを目指しています。民法は総則、物権、債権、親族及び相続と幅広い分野をカバーする法律ですが、一つひとつ知識を蓄積し、理解を深めていきましょう。	

授業科目名 政治学入門 Introduction to Political Economy and History	時間割 4月17日(金)～7月24日(金) 毎週金曜日 16時20分～17時50分 (計15回)
担当教員名 金子 太郎	初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(15ページ参照)にお越しください。
学習時間 講義90分×15回+自学自習(復習に毎回1時間)	
<b>授業の概要</b> 現在の日本では様々な自由(信教の自由、思想・信条の自由、報道の自由など)が認められていて、不正なく普通選挙が行われています。この2つの条件を満たしている国を「自由民主主義(リベラル・デモクラシー)」の国と言います。また、現在の日本は経済活動においては市場経済を基本に経済運営を行っている資本主義体制の国です。自由民主主義や資本主義は皆さんにとっては空気のように「あって当たり前のもの」かもしれませんが、歴史的、地理的な広がりを持って世界史を見てみると、全然そうではありません。どういう歴史的経緯で人類がこれらの政治制度、経済体制を持つようになったかを知ることは非常に重要です。 この講義では、近代市民革命(イギリスのピューリタン革命・名誉革命、アメリカ独立革命、フランス革命)の時代から人類がどのような歴史の経緯を経て、これらの政治制度、経済体制を得ていったかを考えてみましょう。同時に地理的にも広く現在の世界を見てみましょう。世界には自由民主主義、資本主義の国はどれくらいあるでしょう?意外と少ないことに気がつくはずですよ。 皆さんが歴史的かつ地理的に視野を広げて政治、経済、歴史、国際政治の問題を考察する視野を持てるようになることがこの講義の目標です。 そういう視野を持って、現在の日本が直面している問題についても考えてみましょう。	
<b>授業の目的</b> ①歴史的かつ地理的に視野を広げて、政治、経済、歴史・国際政治の問題を考察できるようになること。 ②読書の面白さを感じて欲しい。	
<b>到達目標</b> ①歴史的かつ地理的に視野を広げて、政治、経済、歴史・国際政治の問題をとらえられるようになること。 ②読書の習慣を始めること。	
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>	
第1回 近代以前の統治(強者の支配)と近代市民革命 第2回 19世紀 ナショナリズム、自由主義 第3回 19世紀 資本主義経済の発展、帝国主義、社会主義、共産主義、ナショナリズム 第4回 アヘン戦争～アジアの植民地化、幕末～明治維新～日本の近代 第5回 明治 日本の近代化 第6回 20世紀 戦争と革命の世紀 第7回 第1次世界大戦への道 第8回 第1次世界大戦 第9回 戦間期 ウィルソン主義、平和外交・軍縮の時代 第10回 第2次世界大戦への道 第11回 第2次世界大戦 第12回 満州事変 第13回 5・15事件、2・26事件、日中戦争の深刻化 第14回 アジア・太平洋戦争 第15回 日本の敗戦 講義中にかなりの数の課題図書を指定するので、読んで欲しい。大学の勉強は「講義を聴いて試験でそれを答案に書けばいい」という受動的なものだけではない。自ら読書をする習慣を大学1年生の前期から身に付けて欲しい。また、読書が結構面白いものだと感じて欲しい。 この科目は全回対面授業を行う。ただし、状況によっては全てまたは一部の回の授業形態を遠隔配信へと変更する可能性がある。 予習は必要ありませんが、復習として講義で配布したプリントを1時間くらいかけてよく読み返して下さい。	
<b>教科書・参考書等</b> 半藤一利『昭和史 1926-1945』(平凡社文庫)は講義中にも読むので必ず購入すること。	
<b>履修上の注意・担当教員からのメッセージ</b> 3ヶ月半ほどで課題図書をよく読んでおいて欲しい。読書計画を自分で立てて実行して下さい。	

<b>授業科目名</b> 法学入門（夜間主コース） Law for Beginners	<b>時間割</b> 4月17日（金）～6月5日（金） 毎週金曜日 18時00分～19時30分 19時40分～21時10分（1日2回、計15回）  初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階（15ページ参照）にお越しください。
<b>担当教員名</b> 細谷 越史	
<b>学習時間</b> 講義90分×15回+自学自習	
<b>授業の概要</b> この授業では、具体的にワークルール（労働や働き方）やセーフティネット（社会保障）とライフ（私生活）の関係性はどうかあるべきなのかという着眼点から出発して、広く法学の入門的知識を学びます。	
<b>授業の目的</b> この授業は、法学や政治学を学ぶための前提となる基礎知識を身に着けるために行われる。 この授業では、とくに労働法や社会保障法の具体例を用いて、法学の入門的知識を広く学ぶことにより、その後の授業や演習で学ぶ際の土台を形成する法学の一般的な基礎知識を身に着けることができることを目的とします。	
<b>到達目標</b> この授業では主に以下の基礎知識を身に着けることを目的とする <ul style="list-style-type: none"> <li>・法とは何か、裁判の基準とは何かを説明することができる</li> <li>・法の解釈（法の適用の仕方や法解釈の態度など）について説明することができる</li> <li>・日本国憲法の諸原則および基本的人権について説明することができる</li> <li>・労働者の権利の出現や発展について説明し検討することができる</li> <li>・生活保障の権利（生活保護法など）について説明し検討することができる</li> </ul>	
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>	
第1回 本授業のガイダンス（法学を学ぶにあたって：教科書（下記）の序講参照、法学レポートの書き方など） 第2回 法とは何か、法の発展について（教科書の第1講、第2講参照） 第3回 法と裁判について（教科書の第3講参照） 第4回 裁判の基準について（教科書の第4講参照） 第5回 法の解釈について（教科書の第5講参照） 第6回 近代国家と憲法、権力分立について（教科書の第6講、第7講参照） 第7回 基本的人権について（教科書の第8講参照） 第8回 授業前半のまとめと中間レポート 第9回 犯罪と刑罰について（教科書の第9講参照） 第10回 契約の自由について（教科書の第11講参照） 第11回 損害賠償について（教科書の第13講参照） 第12回 仕事（働き方）と個人の尊重理念ないし自己決定権（憲法13条）（教科書の第15講参照） 第13回 仕事（働き方）やセーフティネットと生存権（憲法25条）（教科書の第15講、第16講参照） 第14回 仕事（働き方）やセーフティネットと労働権ないしディーセント・ワークの理念（憲法27条）（教科書の第15講、第16講参照） 第15回 授業後半のまとめと期末レポート ◎事前学習 次回に取り扱うテーマや課題等について教科書や参考書を用いて予習をしたり、事前に配布された資料を熟読しておいてください（各回1時間を目安とする）。 ◎事後学習 分析・検討したテーマについて関連する論文や判例、教科書などを読み、さらに理解を深めてください（各回1時間を目安とする）。	
<b>教科書・参考書等</b> 教科書としては、末川博編『法学入門〔第6版補訂版〕』（2014年、有斐閣）（定価1500円+税）を指定する予定である。	
<b>履修上の注意・担当教員からのメッセージ</b> 特にございませぬ。	

授業科目名 社会と文化（夜間主コース） Society and Culture	時間割 4月14日（火）～6月9日（火） 毎週火曜日 18時00分～19時30分 19時40分～21時10分（1日2回、計15回）  初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階（15ページ参照）にお越しください。
担当教員名 緒方 宏海	
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習（準備学習30時間+事後学習30時間）	
<b>授業の概要</b> 近年人文・社会科学全体で、多様な「社会」と「異文化」研究に対する関心が高まっている。この授業では、人類学と社会学において、これまで「社会」と「文化」をめぐるなされてきた議論のうち、特に重要と思われるものを講義する。授業では、民族、宗教、ジェンダー、グローバリゼーションなど、現代社会を理解する上で不可欠なテーマについて、文化人類学や社会学をはじめとする人文社会科学の文脈の中でいかに探求されてきたのか、その研究蓄積を学ぶことで、アジアや世界の国々の多様性を理解すると共に、異文化・社会に対する眼差しを養うことを目指す。	
<b>授業の目的</b> 本講義では、異文化理解を主目的とする人類学的視覚から人間の社会や文化を考察し、異文化理解の視点を養うことを目的とする。また「社会」を主な研究対象として、その仕組みやはたらきを研究してきた社会学的研究のうち、特に重要と思われる概念についても講義をする。学生諸君が、人類学と社会学における基本的な社会の捉え方、文化の多様性を理解した上で、常識に捕われずに自ら考え、建設的な問題意識と多角的な視野を持てるように、人類学と社会学的なものの見方、考え方を習得する。	
<b>到達目標</b> 1. 文化人類学の基本的考え方、および社会学と日本民俗学の基本概念を習得する。 2. 文化を、静態的、個別的に考えるのではなく、異なる文化との遭遇を通して、どのように変化してゆくかを、歴史的に、複合的に考え・説明することができる。 3. アジア諸国や世界の国々の生活様式の違い、価値観の違いから起こる諸問題を捉え、解決へ導く視点・考察力を身につける。	
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>	
※この講義は基本的に対面で実施します。 第1回 社会とはなにか？個人を拘束する社会 第2回 言語と文化 第3回 文化人類学の仕事 第4回 人種概念の成立過程と展開 第5回 民族の現代性 第6回 文化的他者と社会の見方 第7回 ジェンダーとセクシュアリティ 第8回 冥婚・事実婚・同性婚・一夫多妻婚—さまざまな婚姻のかたち— 第9回 血のつながりと「親子の関係」、祖先のつくり方—世界の家族と親族— 第10回 宗教と世界観 第11回 死の表象と霊魂、憑依、シャーマニズム 第12回 海外の文化人類学的・社会的日本研究 第13回 民族と観光、観光人類学 第14回 東アジアの自然観と風水地理説 第15回 グローバリゼーションの中の国家、社会、文化を捉える <b>【自学自習のアドバイス】</b> 授業中に指示する参考資料などに目をとおしたり、関連する事象について新聞・インターネットで調べるなどして、考えを深化させること。（5時間以上）。	
<b>教科書・参考書等</b> ハンドアウトを配布する。 参考文献は講義時に適宜紹介する。	
<b>履修上の注意・担当教員からのメッセージ</b> 授業中にリアクション・ペーパーの執筆を課す回がある。 授業で紹介する参考文献をもとに自主的に研究するよう努めてください。	

授業科目名 金融政策（夜間主コース） Monetary Policy	時間割 6月11日（木）～7月30日（木） 毎週木曜日 18時00分～19時30分 19時40分～21時10分（1日2回、計15回）  初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階（15ページ参照）にお越しください。
担当教員名 藤原 敦志	
学習時間 講義90分×15回＋自学自習（準備学習30時間＋事後学習30時間）	
<b>授業の概要</b> この授業では、1990年代の終わり頃から始まり、現在少しずつ正常化に向かっている「非伝統的な金融政策」を時間に沿って解説する。またそれと並行して、財政政策との関連性やアメリカの金融政策の動き、物価やGDP、為替レートなどのマクロ経済の状況にも注意を払う。資料は日本の新聞や経済雑誌の記事を中心に用いて、それらを教員が要約したり、直接配布して読み上げたりする。報道番組などで取り扱われた動画を用いる場合もあるかもしれない。教員が受講生を順番に当てて質問する場合もあるかもしれない。	
<b>授業の目的</b> 「非伝統的な金融政策」は、日本では1999年のゼロ金利政策から始まり、フォワードガイダンス、量的緩和政策、信用緩和政策と発展していき、2016年にはマイナス金利政策やイールドカーブ・コントロールと呼ばれる長期金利の操作まで行き着いた。短期金利を上げ下げする「伝統的な金融政策」とどこが違うのか、どのような効果が見込まれるのか、さらにどのような副作用があるのかを考えていく。	
<b>到達目標</b> ①過去約30年の日本の金融政策の歩みを説明できる。 ②経済状況に応じて望ましい金融政策を提案できる。 ③中央銀行がどのような意図を持って金融政策を行っているかを理解する。	
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>	
授業は基本的に対面で行う。 1 ガイダンス 2 伝統的な金融政策 3 ゼロ金利政策 4 フォワードガイダンス 5 量的緩和政策 6 信用緩和政策 7 包括的な金融緩和 8 中間試験 9 インフレ・ターゲットと共同声明 10 異次元の金融緩和 11 マイナス金利政策 12 イールドカーブ・コントロール 13 金融正常化の開始 14 金融政策と財政政策 15 アメリカの金融政策 16 期末試験 <b>【自学自習に関するアドバイス】</b> ・予習・復習として配布した資料を熟読する。 ・配布した資料をもとに、さらに詳しい情報を自分でも調べてみる。	
<b>教科書・参考書等</b> 特に指定しない	
<b>履修上の注意・担当教員からのメッセージ</b> 積極的に勉強してください	

令和8年度行事予定表（昼間）

第1学期

	日	月	火	水	木	金	土
4月	29	30	31	1 第1学期開始	2	3 新入生ガイダンス	4
	5	6 新入生ガイダンス	7 入学式	8 新入生修学相談会	9 新入生修学相談会 新入外国人留学生ガイダンス	10 新入生健康診断 新入生修学相談会	11
	12	13 授業開始(第1学期・第1クォーター)	14	15	16	17	18
5月	26	27	28	29 授業日(水)	30	1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
6月	31	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11 授業開始(第2クォーター)	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
7月	28	29	30	1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20 授業日(月)	21	22	23	24	25
8月	26	27	28	29	30	31	1
	2	3 DR1検定	4	5	6 夏季休業～9/30 オープンキャンパス(看護学科)	7 オープンキャンパス	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
9月	30	31	1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30 第1学期終了			

(注1)4/29(水・祝)及び7/20(月・祝)を授業日とする。  
 (注2)土曜日の授業(・定期試験)予備日は、気象警報の発令等により休講となった授業に限り、補講を実施するものとする。13  
 (注3)オープンキャンパス:8/6は医学部看護学科、8/7は医学部医学科(午前)・臨床心理学科(午後)・他の学部

第2学期

	日	月	火	水	木	金	土
10月	4	5	6	7	8 第2学期開始 大学記念日	9 新入外国人留学生ガイダンス	10
	11	12	13	14 振替授業(月)	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30 大学前夜祭 (臨時休業)	31
11月	1	2 大学祭撤収日 (臨時休業)	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23 授業日(月)	24	25	26	27	28
12月	29	30	1	2	3 授業開始(第4クォーター)	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25 冬季休業～1/7	26
1月	27	28	29	30	31	1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14 振替授業(月)	15 入試会場設営 (臨時休業)	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
2月	31	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15 振替授業(水)	16	17	18	19	20
	21	22	23	24 入試会場設営	25	26	27
3月	28	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11 春季休業～3/31 入試会場設営	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24 卒業式 (毎年3/24)	25	26	27
	28	29	30	31 第2学期終了			

(注1)11/23(月・祝)を授業日とする。  
 (注2)土曜日の授業(・定期試験)予備日は、気象警報の発令等により休講となった授業に限り、補講を実施するものとする。

令和8年度行事予定表（法・経済学部夜間主コース）

第1学期

	日	月	火	水	木	金	土
4月	29	30	31	1 第1学期開始	2	3 新入生ガイダンス	4
	5	6 新入生ガイダンス	7 入学式	8 新入生修学相談会	9 新入生修学相談会 新入外国人留学生ガイダンス	10 新入生健康診断 新入生修学相談会	11
	12	13 授業開始(第1学期)	14	15	16	17	18
5月	26	27	28	29 授業日(水)	30	1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
6月	31	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
7月	28	29	30	1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20 授業日(月)	21	22	23	24	25
8月	26	27	28	29	30	31	1
	2	3	4	5	6 夏季休業～9/30 オープンキャンパス(看護学科)	7 オープンキャンパス	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
9月	30	31	1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30 第1学期終了			

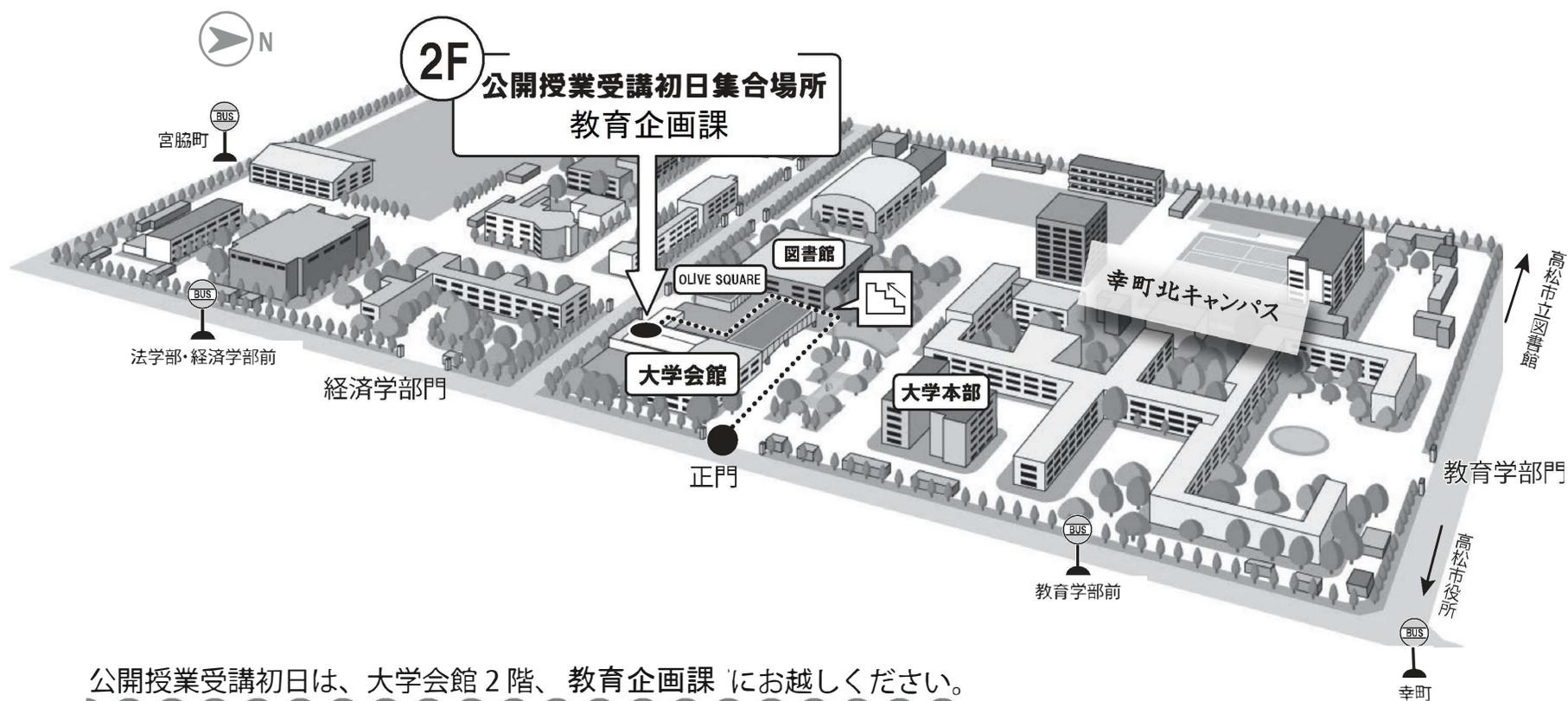
(注1)4/29(水・祝)及び7/20(月・祝)を授業日とする。  
 (注2)土曜日の授業(・定期試験)予備日は、気象警報の発令等により休講となった授業に限り、補講を実施するものとする。14  
 (注3)オープンキャンパス:8/6は医学部看護学科、8/7は医学部医学科(午前)・臨床心理学科(午後)・他の学部

第2学期

	日	月	火	水	木	金	土
10月	4	5	6	7	8 第2学期開始 大学記念日	9 新入外国人留学生ガイダンス	
	11	12	13	14 振替授業(月)	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30 大学前夜祭 (臨時休業)	31
11月	1	2 大学祭撤収日 (臨時休業)	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23 授業日(月)	24	25	26	27	28
12月	29	30	1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25 冬季休業～1/7	26
1月	27	28	29	30	31	1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14 振替授業(月)	15 入試会場設営 (臨時休業)	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
2月	31	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15 振替授業(水)	16	17	18	19	20
	21	22	23	24 入試会場設営	25	26	27
	28	29	30	31			
3月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11 春季休業～3/31 入試会場設営	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24 卒業式 (毎年3/24)	25	26	27	28
	29	30	31 第2学期終了				

(注1)11/23(月・祝)を授業日とする。  
 (注2)土曜日の授業(・定期試験)予備日は、気象警報の発令等により休講となった授業に限り、補講を実施するものとする。

# 香川大学幸町キャンパスマップ



公開授業受講初日は、大学会館 2 階、教育企画課 にお越しく下さい。

### 高校生を対象とした公開授業及び体験授業に係る受講生・保護者連絡先

受講生氏名	
受講生電話番号	
受講生メールアドレス	
保護者氏名	
保護者連絡先 (電話番号・メールアドレス)	

※携帯等のメールアドレスは大学（パソコン）からのメールが届かない可能性もありますので、パソコンやWebのアドレスをお持ちでしたら、携帯等のアドレスと併せてご記載ください。

香川大学から受講決定の通知がありましたら、受講初日にこの用紙と受講料をお持ちください。（公開授業は1科目につき、「15及び16回の授業は2,300円」、「8回の授業は1,800円」。体験授業は無料。）

なお、上記の個人情報は、香川大学が高校生対象公開授業及び体験授業の実施に当たり必要な範囲において利用させていただきます。それ以外の目的に利用することはありません。